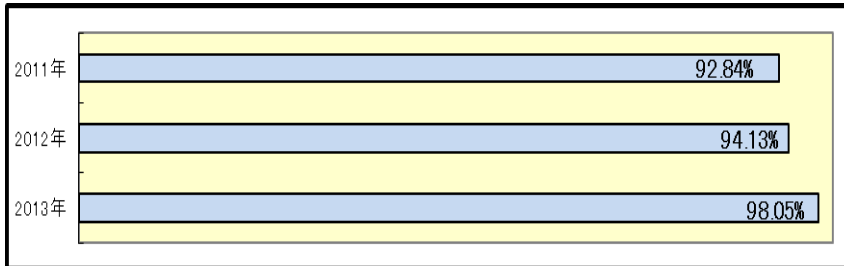


診療情報管理委員会ニュース

(2011年～2013年：臨床指標結果報告)

VOL. 2 2014年5月 診療情報管理委員会

予定手術開始前1時間以内の予防的抗生剤投与割合



分子：執刀前1時間以内に予防的抗生剤を投与した数

分母：クラス2以下入院手術数

(CDCによる手術創清浄度分類が清潔および準清潔手術)

※全日本民医連Q1推進事業より

<指標の意義>

○手術部位感染(S S I)を予防する対策の一つとして、手術前後の抗菌薬投与があり、手術執刀開始の1時間以内に適切な抗菌薬を静注射することでS S Iを予防し、入院期間などの延長を押さえることができる。

○CDCガイドラインに沿った感染予防の徹底。

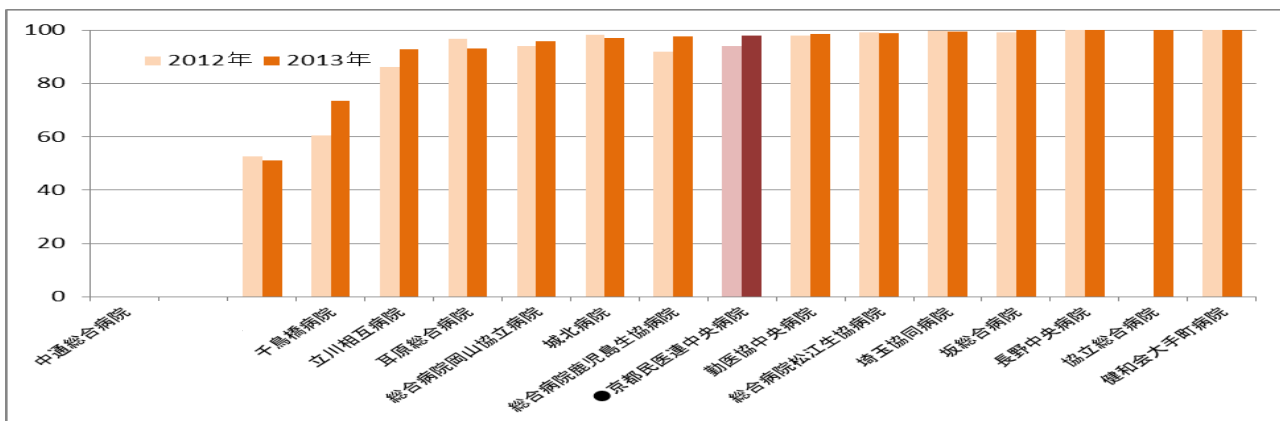
○大きく値のはずれた病院では、投与のタイミングや投与期間、抗生剤種類なども検討課題として上がってくる。

○率は% (パーセント) で表します。

<感染管理認定看護師より>

2011年、2012年に関しては何ら操作していないため誤差の範囲と思われる。

2013年に関しては、抗生剤投与が必要のない術式の抽出を行い、それらを分母除外としたため実施割合が高くなったものと思われる。



【臨床指標の目的】

収集した臨床指標を院内・外へフィードバックし、質をより良くしていく為のツールとして現場で使ってもらう事が臨床指標作成の第一の目的となります。

また、各医療活動がどの程度できているのか数値として把握をすることができるため、変化がわかりやすく、改善活動へ繋がりがやすくなると考えます。

※一般公開許可のある施設のみ院所名を載せております